

ぎかいの木

CONTENTS

6月定例会の審議	……P2
第2回臨時会	……P3
常任委員会審査報告	……P4～5
所管事務調査報告	……P5
一般質問	……P6～10
政務活動費の公表	……P11
議会のうごき	……P12

NO.79 令和5年8月1日号

6月定例会などの内容をお伝えします。

あじさい～翠雲公園～



6月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



令和5年
6月定例会

一般会計補正予算を修正可決

4億1204万2千円を追加

6月定例会の主な議事

- 北秋田市子ども・子育て会議設置条例等の一部を改正する条例の制定について
- 令和5年度一般会計補正予算
- 令和5年度各特別会計補正予算
- 令和5年度各事業会計補正予算
- 工事請負契約の締結について（義務教育学校阿仁学園統合改修工事（建築工事））
- 北秋田市副市長の選任について
- 北秋田市農業委員会委員の任命について

6月定例会は、6月20日から6月30日までの11日間の会期で行われました。今定例会では、条例案6件、補正予算案9件、単行議案1件、報告5件、陳情2件について審議が行われ、一般会計補正予算を除くすべてで全会一致により、原案のとおり可決及び

採択としました。

一般会計補正予算では、総務文教常任委員会から不動産鑑定委託料17万8千円を減額し、同額を予備費に計上する修正案（※）が提出され、本会議において可決されました。

また、最終日には、不在となっていた副市長の選任を含む人事案件2件が追加提案され、無記名投票により、賛成多数で河田浩文氏の副市長選任に同意、農業委員会委員36名の任命についても同意としました。

※修正案の内容は、4ページの総務文教常任委員会審査報告をご覧ください。

▼令和5年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和5年度一般会計補正予算は、4億1204万2千円を追加し、総額は233億7065万9千円となりました。主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
指定管理施設電気料金高騰対策事業	31,486千円
介護保険施設等物価高騰対策事業	12,216千円
障害者支援施設等物価高騰対策事業	14,388千円
学生生活支援事業	25,401千円
スーパープレミアム付商品券事業	131,023千円
企業誘致対策事業	70,721千円
義務教育学校建設事業	23,028千円

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	秋田県教職員組合 執行委員長 小林 久美子	採択	提出
地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての陳情	連合秋田大館鹿角地域協議会 議長 山内 一滋	採択	提出

第2回臨時会

第2回臨時会が4月26日に開催され、承認4件のほか、米内沢小学校との統合のため前田小学校を廃止とする条例や、エネルギーや食料品価格等の物価高騰に影響を受けた住民税非課税世帯に対する給付金の給付などを盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算など、議案5件について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

議員から、前田小学校の閉校にあたり、地域と関わりのある前田小特有の行事の今後について、また、指定緊急避難場所の今後の在り方について質疑があり、当局から、学校行事は学校長や学校運営協議会が協議して決めていくことになる。避難場所は現時点で変更する予定はないとの答弁がありました。

第2回臨時会はこちらから
ご覧いただけます。



北秋田市議会 各議員連盟が総会を開催

■議員連盟…議員が特定の目的をもって結成する会のことをいいます。
現在、本市議会には3つの議員連盟があります。

森林・林業・林産業 活性化議員連盟

北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟の総会が、6月30日に行われました。

総会では、市の森林、林業、林産業の活性化の実現に向け、3つの活動を重点課題として掲げた事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

商工会活動を支援する 議員連盟

北秋田市議会商工会活動を支援する議員連盟の定時総会が、6月30日に行われました。

総会では、北秋田市商工会との勉強会や商工関連の研修・視察などを実施することとした事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

秋田内陸縦貫鉄道 北秋田議員連盟

秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟の定時総会が、6月30日に行われました。

総会では、北秋田地域の観光、経済発展のツールとして内陸線に何が必要かを議論し、今後の観光政策や交通政策に提言することとした事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。



総務文教常任委員会 補正予算の一部修正案を可決

〔委員長〕小笠原 寿 〔副委員長〕五代儀義富 〔委員〕福田牧子／堀部 壽／板垣 淳／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案2件、単行議案1件、陳情2件の計6件でした。

令和5年度一般会計補正予算の財務部財政課の審査の中で、委員から「ベビーシートの設置箇所はどこか」との質疑があり、当局からは「本庁舎1階女子トイレ内に設置する。これはこども課が新設されたことによる対応」との答弁がありました。

教育委員会総務課の審査の中で、委員から「閉校となる前田小学校の不動産鑑定委託については、鑑定額を算出する前に建物・土地の活用方針の決定が先ではないか」との質疑があり、当局からは「現在、地権者の方々と交渉させていただいている状況だが、購入・賃貸・返却などいろいろな選択肢があり、そのひとつの情報として不動産鑑定をさせていただきたい」との答弁がありました。以上のような審査をした結果、採決では「前田小学校閉校後の建物・土地の活用方針が決定する前に不動産鑑定を実施する根

拠についての説明が不十分であり、再検討を行う必要があるのではないかと理由で修正の提案があり、補正総額は変えず、委託料17万8千円を減額し、同額を予備費に計上する修正案を全会一致で提出することと決しました。

また、修正した部分を除く一般会計補正予算所管分については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他の付託された条例案、予算案、単行議案は、審査を踏まえ、すべて全会一致で可決すべきものとし、2件の陳情は、2件とも全会一致で採択すべきものとし、意見書を提出することと決しました。

（委員長 小笠原 寿）



修正可決となった前田小学校の敷地

市民福祉常任委員会 ワクチン接種は保健センターで

〔委員長〕佐藤重光 〔副委員長〕三浦倫美 〔委員〕虻川 敬／佐々木正史／中嶋洋子

当委員会に付託された案件は、条例案4件、予算案6件の計10件でした。

令和5年度一般会計補正予算の医療健康課の審査では、委員から「新型コロナウイルスワクチン接種事業等について、5月から5類に移行したことで、移行前と移行後の市の業務の変化について実際はどのようなになっているのか」との質疑があり、当局からは「移行前ということですが、今年度5月から実施している接種は大規模会場ではなく保健センターで実施している。会場が小さくなった分、負担は幾分少なくなったが、体制としては予約申込み、予診票の通知など実施している業務はほとんど変わらないため、体制は同じような状況である」との答弁がありました。

市民生活部関係の審査では、委員から「コミュニティ事業補助金について、各自治会から出された要望は市で割り振りして申請するのか」との質疑があり、当局からは「各自治会の要望については、秋田

県を通じて事業募集の案内があり、即時に各自治会へ通知している。そして、市に申請があったものを県のほうへ提出し、最終的には県を通過して自治総合センターへ申請が出され、事業の採択は自治総合センターで決定されるもので、市で事前に割り振りして決めるものではない」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、条例案、予算案ともに全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 佐藤重光）



保健センターで実施しているワクチン接種

産業建設常任委員会 北秋田市の空き店舗調査実施へ

[委員長] 杉渕一弘 [副委員長] 松橋久敏 [委員] 永井昌孝 / 福岡由巳 / 久留嶋範子 / 長崎克彦

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案3件の計4件でした。

北秋田市常住宅条例の一部を改正する条例の制定については、委員から「解体のための予算は当初予算で計上されていて、今回、用途廃止のための条例が提案されたが、本来は条例が先にあるべきではないか」との質疑に、当局からは「地方自治法第222条第1項で、予算上の措置が終わる前に条例を提出することは、地方自治法に違反することとの答弁がありました。

令和5年度一般会計補正予算の農林課関連では、委員から「捕獲通報装置設置業務委託にかかる委託料について、当初予算で計上していた全額を減額して鳥獣被害防止総合対策交付金へ組み替えているが、その経緯は」との質疑に、当局からは「予算措置時点では北秋田市を事業主体として予算措置したが、4月に作成された県の要綱により、事業主体は北秋田市鳥獣被害対策協議会が行うことと示されたため、組み替えをするもので



空き店舗の利活用を!!

(委員長 杉渕一弘)

ある」との答弁がありました。

また、商工観光課関連では、委員から「空き店舗等調査業務委託について、今回はどの程度の調査を行うのか。また、エリアはどうか」との質疑に、当局からは「実際の間取りや所有者が貸し出せるかどうかの意向まで含めて調査していただき、エリアは全市を想定している」との答弁があり、また、運送事業者エコタイヤ導入支援事業補助金について、委員から「県でも同様の補助が出ているが、市との併用は可能か」との質疑に、当局からは「併用は可能である」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、条例案、予算案ともに全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



閉会中の所管事務調査 委員長報告 (抜粋)

総務文教常任委員会

4月20日に義務教育学校・阿仁学園の現地調査を実施しました。

旧阿仁合小を改修する新校舎は、エアコンとLED照明を導入して間取りを改修する計画で、体育館横には「みんなのトイレ」を設置するなど多様化対応の校舎となる予定です。体の大きさの異なる小・中学生が同じ校舎を使うことに問題はないのかとの委員の質疑に、黒板の位置などは調整するが概ね問題の無いものと認識しているとの説明がありました。また、防犯対策について、児童滞在時には基本施錠であり、来客時には都度、解錠対応する事や非常階段での個別対応等についても確認しました。(文責者：副委員長 五代儀義富)

市民福祉常任委員会

5月18日に「消防署西統合分署及び阿仁分署について」の調査を実施しました。

西統合分署は、「消防庁舎、訓練棟、消防団訓練場を備え、新庁舎には女性消防吏員専用の更衣室、トイレ、仮眠室も設置している。」との説明を受け、視察しました。

阿仁分署は、阿仁分署南側駐車場の新庁舎建設予定地を確認し、委員から「地元住民から裏にある文化財と資料館が見えなくなるのではという声がある。配慮をお願いしたい。」との意見があり、当局から「現庁舎解体後、見通しは良くなる。新庁舎は外観にも配慮したい。」との答弁がありました。(文責者：副委員長 三浦倫美)

産業建設常任委員会

5月10日に昨年8月の豪雨で決壊した桂瀬地区「槇ノ沢大ため池」について調査を実施しました。

ため池の復旧工事については、秋田県が実施主体となって行い、令和6年度中の完成を予定し、事業費は約1億6335万円との説明を受けました。質疑では、委員から「2年間は畑地化しなければならぬが、水稲と畑作で収入に差が出た場合の対応策や市単独の支援を考えているか。」の問いに、当局からは「水田活用直接支払交付金の活用を考えていただく。市単独の支援方法は、今後いろいろ話しを聞きながら進めたいと思っている。」との答弁がありました。(文責者：副委員長 松橋久敏)

活かそう市民の声

市政を問う！ 一般質問

一般質問は、6月22日・23日の2日間で行われ、9人の議員が登壇しました。

福田 牧子 議員 (P 6)

- ◆空き家等対策について
- ◆障がい者の投票支援について
- ◆廃校・統合による備品の利活用について
- ◆学童期からの性教育の必要性について

三浦 倫美 議員 (P 7)

- ◆高齢者支援策について

松橋 久敏 議員 (P 7)

- ◆市民病院の院外再来受付機について
- ◆防犯対策について
- ◆廃校の利活用について
- ◆旧市道構造物の撤去について
- ◆国道105号の防災工事について

長崎 克彦 議員 (P 8)

- ◆圃場整備とため池の維持管理について
- ◆築堤の建設について

永井 昌孝 議員 (P 8)

- ◆空き家対策について
- ◆少子化対策について

五代儀 義富 議員 (P 9)

- ◆公共施設の利活用について

板垣 淳 議員 (P 9)

- ◆非核・平和の取り組みについて
- ◆医療について
- ◆マイナンバーカードについて

福岡 由巳 議員 (P 10)

- ◆「憩の森」の今後について
- ◆森吉山一帯の国立・国定公園昇格の推進について
- ◆森吉山荘の早期再開にむけて
- ◆合川地区市営住宅の建て替え計画について
- ◆太平湖遊覧船の運航時刻について

久留嶋 範子 議員 (P 10)

- ◆物価高騰に対する支援策について
- ◆自然災害について
- ◆ふれあいプラザコムコムチャレンジブース出店について

福田 牧子 議員

(公明党)



QRコード

空き家対策と
廃校備品の利活用

Q 空き家等解体撤去補助事業を拡大できないか。

A 特定空き家等解体事業を実施中。特定空き家に至らない空き家等に対する助成制度も他の自治体を調査しながら検討していく。

Q 空き家解体後の固定資産税の減免措置はできないか。

A 冬季に雪寄せ場として活用すると4ヶ月間の減免措置を実施。

Q 障害者の投票支援が秋田県は遅れているとの報道だが、マニュアルやコミュニケーションボードの導入は。

A 障害者に対する投票対応資料を追加し、県選管と連携して支援の体制作りをしていく。

Q 小中学校の廃校・統合による備品の管理状況は。

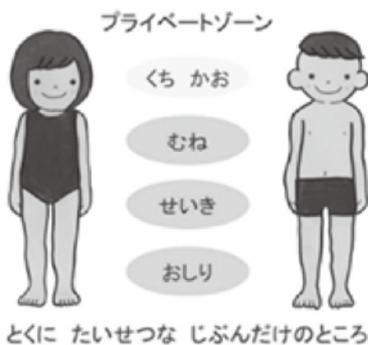
A 図書を含む約3200個についてリスト化して管理している。

Q 内覧会による市民への販売や譲渡の考えは。

A 市民への提供、中古品買取り事業者等への売却も含め検討する。

Q 学童期からの性教育(プレコンセプションケア)の必要性について市の考えは。現行の教育内容は。

A 各学校で「性に関する」年間指導計画を作成し、保健・保健体育・道徳・理科・生活科・学級活動の時間を通して発達段階に応じた指導を実施。小学校では助産師を講師として生命の授業を、中学校では医師から聞く性教育講座を実施している。正しい知識を得ることは、自分も相手も守るという意味で重要。



出典元:公益財団法人 こうち男女共同参画社会づくり財団

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



QRコード

はりきゆうマッサー ジ 施術費助成を

Q 市民から「大館市のように助成してほしい」との声が寄せられた。平成30年9月定例会で久留嶋龍子議員が「長寿・健康増進事業として当市でも助成を」と質問しており、市長は「県内他市の助成状況を参考に慎重に検討したい」と答弁している。その後、コロナ禍もあり、高齢者の孤立化や健康不安等の状況もある。少しでも高齢者の心身の不安を軽減し、社会参加への後押しをしていけるよう多様な取り組みが必要。そのひとつとして「はり、きゆう、マッサージ施術費助成」を実施すべきでは。 **A** 県内他市の実施状況を調査したが、他市では利用者が一定の方に偏るといった問題点が指摘されていることや好みの問題もあり、広

く利用される事業となるか不透明な部分があり、健康増進事業のメニューとしてなじまないと考えている。市としては、長寿健康増進対策事業として、国民健康保険及び後期高齢者医療保険加入者を対象とした市民プール利用料助成事業、フレイル予防として介護予防教室や各種サロン立ち上げ支援などを拡充し、高齢者の社会参加促進と健康寿命延伸に向け取り組んでいく。

Q 高齢者支援を厚くすることは、高齢者だけでなく、共に生き、後に続く全世代の安心につながる。狭いものではない。今後への思いは。

A 高齢者の地域参加は様々あり、時代により変遷もある。今の時代に合った健康寿命を延ばす対策を常に頭に入れ、取り組んでいきたい。



苦労を重ねてきた高齢者

松橋 久敏 議員

(清明会)



QRコード

廃校の利活用は

Q 阿仁総合窓口センターの院外再受付機を撤去する理由について。

A 現在、市民病院の予約制は、平均的に30分枠5人で運用しており、予約制の導入割合も上昇し、待ち時間も短縮され、医療サービスの向上が図られている。院外再受付機の利用状況は、令和4年度の実績から、阿仁地区の年間患者数のうち31・8%の方が利用されており、そのうち99・6%が予約されている方々となっている。この予約されている方々が市民病院内の再受付機を利用いただければ予約枠内の順番で案内できることから、院外再受付機については、外来運用を変更するタイミングで撤去することと判断した。

Q 旧阿仁中学校、旧大阿仁小学校

の利活用についての考えは。

A 旧阿仁中学校の体育館は、阿仁体育館の老朽化に伴う代替施設として来年度から利用する予定であるが、校舎は老朽化が著しいことから今後の活用は難しい。旧大阿仁小学校は、庁内関係部局と情報の共有化を図るとともに、地域の皆様との意見交換の場を設け、活用方法について検討する。

Q 旧荒瀬川線の橋梁等構造物は早期に撤去すべき。

A 撤去を速やかに進める。

Q 大覚野峠防災工事の早期完成に向けた取り組みは。

A 一日も早い整備実現のため、関係機関に対し、整備促進に向けた要望活動を推進する。



旧大阿仁小学校

長崎 克彦 議員

(清明会)



QRコード



圃場整備とため池の管理について

Q 坊沢上野地区の圃場は、農道が狭隘、用水路は土側溝である。区画は10アール以下で、現在の農業経営は困難で、年々耕作放棄地が増えてきている。早急に圃場整備を実施すべきと思うが。

A 2019年に関係機関による事業説明会を実施したが具体的計画まで至っていない。市では引き続き、県、土地改良区などの関係機関と連携しながら事業実施に繋がるよう努力する。

Q 当市の圃場整備済み面積と整備率は。

A 3620ヘクタール、66・5%。

Q 圃場地内には3か所のため池があるが、泥と雑草が繁茂し、用水の役割を果たしていない。この維持管理を。

A ため池は法定外公共物に位置づけられ、除草や清掃等の維持管理は地域住民の方々や受益者などで行っていただくことにしている。

Q 三ツ屋岱地区(米代川左岸)の圃場は基盤整備完了したが、築堤がないため、昨年の8月は3回も冠水し、63ヘクタールの圃場の収穫が皆無の状況であった。早期の堤防建設を関係機関に要望すべきと思うが。

A 国交省能代河川国道事務所によると、流域治水の概念を加えた河川整備計画への変更を進めており、本年度策定予定である。計画の治水対策の内容について十分な説明を求めるとともに、あらゆる関係機関と連携のもと流域治水の推進を図ってまいらる。

Q 築堤の距離はどのくらいか。

A 約2・2キロぐらいになる。



耕作放棄地と稲作箇所

永井 昌孝 議員

(清明会)



QRコード



空き家活用で地域活性化を

Q 空き家活用で地域活性化の考えは。

A 北秋田市中心市街地賑わい再生支援事業補助金(空き店舗を利用し開業・新規出店)を実施している。リノベーションをしてシェアハウスや民泊などの施設に活用するなどもよい取り組みと考える。今後の取り組みとして、農地改正法に伴う農地取得の下限面積要件撤廃に合わせ、農地付き空き家に関する取り組みを実施する方針である。

Q 少子化対策として、未婚、若年層の住宅、就職支援についての考えは。

A 現在の市営住宅は公営住宅法により規定している。移住、定住者向けとした助成制度はあるが、現在すでに住まわれている若者に対

しては適用にならない。未婚の若年層に対する賃貸料金の補助制度は、年齢、所得制限、補助期間設定など定住につながるか検討する。新社会人向けに「フレッシュヤーズ応援金」を交付し、市内事業主に「資格取得支援助成金」を助成して就労の安定化と定住の促進を図っている。

Q 若者が生活しやすい環境の整備は。

A 市外在住者における移住定住に関するアンケート調査報告書を踏まえ、総合戦略の中で新たな人の流れをつくる移住定住の促進を掲げている。その取り組みとして、フレッシュヤーズ応援事業や移住体験事業など展開。若い人が地元で生活したい、就職したいと思える施策を検討する。



空き家をどう活用するか

五代儀 義富 議員
(無会派)



QRコード



公共施設の管理は

利用者目線が大事

Q 労働福祉会館のトイレに改善要望が相次いでいる。手洗いが不備であり、故障したままの個室もある。そのため、利用団体から女性会員の活動参加に支障が出ているとの訴えもある。耐用年数を超過した施設ではあるが「公共施設等総合管理計画」では「可能な限りの貸し付け」を指すとしており、これ程に有効活用されている実態があるのだから、使用に耐え得る措置を講じるべきではないか。

A 修繕で改善を図る。

Q 同施設の今後について、修復を施し、外観を整えて観光資源として活用する考えはないか。

A 現在、利用している団体等と協議して決めてゆく。

Q 市民ふれあいプラザ・コムコム



労働福祉会館

について、設置された太陽光発電は有効に機能しているか。コンセントの不足が利用者から指摘されているが、ワーケーション推進の市の方向性に反しないか。

A 太陽光発電は、同施設の電力使用量の4〜5%を占めている。2022年度の電気料金は2021年度に対して130%であり、森吉コミュニティセンターは128%、阿仁ふるさと文化センターが111%という増加率をみると、一定の効果を挙げているものと認識している。ワーケーションについては、PCコーナー等の活用で対応可能と判断しているが、更に不足という事であれば、当面は延長コード等に対応し、必要に応じて追加設置の検討をする。

板垣 淳 議員
(日本共産党議員団)



QRコード



非核・平和の

取り組み強化を

Q 当市は『非核平和宣言』をしているが、その取り組みをもっと強化すべき。

A 核廃絶と世界平和を強く願っている。現在、市役所本庁舎と森吉庁舎に設置してある『非核平和宣言』の横断幕を合川・阿仁の庁舎にも設置する。平和写真展の開催も検討する。

Q 秋田県は2次医療圏を現在の8から3に再編しようとしている。これでは医療を受ける環境が悪化する。

A 医師不足などの理由から医療圏再編・広域化は現実的な判断だと考える。

Q 国はあの手の手でマイナナンバーカードを作らせようとしているが、①高齢者施設では紙の保険

証と同じようにマイナ保険証を預かるのか、暗証番号は誰が暗記するのか、②認知症の人はどうするのか、③訪問診療ではカードをどうやって読み取るのか、④学校にカードを持参させるのか、紛失時の法的責任は、などについて決まっているか。

A それらすべて国からまだ連絡がない。

Q 国として準備ができていないし、トラブルも続出している。河野太郎デジタル大臣の地元平塚市では運用を一時停止した。当市でも安全が確認されるまで停止すべきではないか。

A 一時停止する考えはない。広報やホームページで市民の不安解消に努める。



本庁舎の屋上に掲げてある宣言幕

福岡 由巳 議員

(無会派)



森吉山一帯の早期
国立・国定公園化を

Q 市長は放棄地同然の「憩の森」を調査し検討を図ると答弁されたが結果はどうであったか。

A 7月頃に調査する予定。ハイランド体育館は廃止に向けて進める。
Q なぜ、これまで放棄地にして調査してこなかったのか。

A どの部署がどこを所管するのか確認が必要であった。

Q 環境省の早期調査のためには、地元団体から森吉山単独の国定公園化の実現が早いとされている。これには何か問題点があるのか。

A 様々な意見があり、市としてはまだ取りまとめる段階にない。

Q 3月議会でも市長は「森吉山荘の無償譲渡に応募者がなかったのでアンケート調査をしている」と答弁されたが結果はどうだったか。

A 結果も踏まえて、森吉山荘の再開を目指して無償譲渡に係る条件整理について引き続き検討する。

Q 問題の森吉山荘のお湯については今後どうするのか。

A 山荘のお湯は民間の源泉から供給されており検討していききたい。

Q 合川地区明田団地・鳥屋岱団地の集約建替計画について、平成19年の豪雨災害地であり、家賃は2倍超えの大幅値上げ。1LDKの場合、面積が狭いなど問題が多い。説明会を多く望むが、それでも入居を拒否する場合はどうなるか。

A 防災は今後の実施計画において森吉山ダムの完成や阿仁川の築堤状況を加味し浸水対策を盛り込む。今後も説明会や個別相談を随時行い、入居拒否の方には既存住宅への転居も説明していく。



登山者が多い森吉山山開き

久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



物価高騰対策は
これで十分か

Q 6月議会に物価高騰対策としてスーパープレミアム付商品券の発行や光熱費補助事業などを盛り込んだが、これで十分か。今までも応援チケット事業を行ってきたが、一世帯2セットまでの理由は何か。購入率は何%を見込んでいるのか。

A コロナ禍からの回復の道筋が見え始めており、今回は購入型のプレミアム応援チケット事業を実施することとし、過去の販売実績を踏まえ、世帯購入率を60%と見込み、関連予算を提案した。

Q 6月に入り、電気料金や食品の値上げが続いており、家計への負担が増えている。前回のようない市民全員への応援チケット事業は考えられなかったのか。

A 今回は購入型を実施し、今後も

市内の経済や国・県などの動向を注視しつつ、柔軟に対応していく。
Q 近年多発する、激甚化する自然災害について。昨年8月には当市でも記録的な大雨により甚大な被害が発生した。備えを再点検し、早めの非難を心掛けるべきではないか。高齢者への対応など、見えてきた課題とその対応について。

A 早めの非難行動がとれるよう呼びかける必要性を再認識した。連絡体制を確立し、訓練を通して体制強化に努める。

Q コムコムのチャレンジブース出店に応募がない。今後の考えは。

A 引き続き募集し、1店舗を販売イベントなど短期間での貸し出しなどに利用できるように検討している。



閉まったままのチャレンジブース

令和4年度 政務活動費の公表



政務活動費は、議員の調査研究活動の充実を図るため、議員活動に掛かる経費の一部を補助するもので、北秋田市では議員1人あたり月額1万を会派に交付しています。

また、会派に属していない議員については、月額1万円を議員個人に交付しており、いずれも年度終了後には、全支出の領収書を添えた収支報告書が作成され、残額については市に全額返還されています。

(単位:円)

	清明会 (7人)	新創会 (4人)	未来きたあきた (3人)	日本共産党 議員団(3人)	福田牧子	永井昌孝	福岡由巳	五代儀義富	計	
収入	政務活動費	730,000	480,000	300,000	360,000	120,000	10,000	申請なし	20,000	2,020,000
	計	730,000	480,000	300,000	360,000	120,000	10,000		20,000	2,020,000
支出	調査研究費	443,258	75,510	0	61,100	33,002	0	0	0	612,870
	研修費	0	0	0	0	82,640	0	0	0	82,640
	広報費	0	0	0	0	18,700	0	0	0	18,700
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	20,472	0	19,662	40,134
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	18,940	0	0	0	0	18,940
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	443,258	75,510	0	80,040	134,342	20,472	0	19,662	773,284	
残額	286,742	404,490	300,000	279,960	0	0	0	338	1,271,530	

※会派の異動等により、会派及び個人の両方に名前がある場合があります。

所管事務調査報告

広報特別委員会

奥州市を視察研修

広報特別委員会では、5月31日に岩手県奥州市で所管事務調査を実施しました。

視察の目的は、議会の広報活動について直接話を聞くことでしたが、広報活動だけでなく、広聴活動も含め幅広く説明を受けることができました。

奥州市議会の主な広報事業は5つで、「市議会だより」の発行、「インターネットや地元ケーブルテレビを活用した議会中継の配信」、「ホームページでの詳細な議会情報発信」、「フェイスブックやツイッター、インスタグラムといったSNSを活用したリアルタイムでの情報発信」、「議員自ら出演し情報発信するFM放送」を実施。広報誌「おうしゅう市議会だより」の主な概要としては、発行回数は定例会ごとの年4回でページ数を16ページに固定。これは、印刷業者にとって、8の倍数のページが製本上1番効率的なためとの説明でした。また、色は全ページフル

カラーで表紙を含めてイラストを多く活用しており、表紙のテーマは議会広聴広報委員で話し合い、他のイラストも含めて委託業者が作成しているとのことでした。委託業者とは5年間の業務委託としており、単純な印刷業務ではなく、編集発行業務として委託しているとのこと、編集に伴う委員会の開催には委員や議会事務局職員だけでなく委託業者も出席しているとの説明でした。また、視覚障がい者への配慮として点字版やテープ・デジ版を市内のボランティア団体が作成していることや、ほかにも、脚注、字体、色合い、資料の保管についてなど多岐に説明を受けるとともに広聴活動についても説明を受け、充実した視察研修となりました。

(文責者：副委員長 福岡由巳)



広報活動について幅広く研修

全国市議会議長会表彰

6月14日に東京で開催された第99回全国市議会議長会定期総会において、堀部壽議長が全国市議会議長会の産業経済副委員長ならびに評議員を務められた功績に対し、「会務運営の重責にあたられ使命達成に尽くされた功績は誠に顕著なものがある」として感謝状が授与されました。



議会見学 清鷹小学校

6月23日に清鷹小学校6年生児童27人が市役所を訪れ、傍聴席から本会議の様子を見学したり、議会事務局職員から説明を受けるなどし、議会の役割などについて学びました。



市議会へのご意見を募集しています

- 対象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

議会を傍聴してみませんか

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧ください。ようお待ちしています。

広報特別委員会

- 委員長 五代儀義富
- 副委員長 福岡由巳
- 委員 佐々木正史
- 委員 久留嶋範子
- 委員 中嶋洋子
- 委員 佐藤文信

議会の動き

<4月16日～7月15日>

4月

- 19日・議会運営委員会
・広報特別委員会
- 20日・総務文教常任委員会所管事務調査
- 26日・第2回臨時会
- 10日・産業建設常任委員会所管事務調査
- 11日・大館能代空港利用促進協議会監査
- 14日・北秋田市老人クラブ連合会総会
- 16日・令和5年度東北日本海沿岸市町村議会協議会役員会・総会（～17日）
- 18日・市民福祉常任委員会所管事務調査
- 19日・米代川治水期成同盟会、秋田県北部国道7号整備促進期成同盟会、日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会令和5年度合同総会

5月

- ・北秋田市観光物産協会親睦交流会
- 23日・大館能代空港利用促進協議会総会
- 25日・令和5年度八戸・能代間、北東北横断道路整備促進期成同盟会総会
- 26日・令和5年度地域高規格道路大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会通常総会
- ・北秋田市商工会会員親睦大会
- 29日・全国自治体病院経営都市議会協議会第51回定期総会
- 30日・広報特別委員会所管事務調査（～31日）

6月

- 1日・太平湖湖水開き及び安全祈願祭
- 2日・令和5年度能代港湾振興会総会
- ・令和5年度能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会総会
- 4日・第39回ふるさと踊りと餅っこまつり
- 8日・議会運営委員会
- 12日・議会運営委員会

6月

- 13日・全国市議会議長会第231回理事会
- 14日・全国市議会議長会第99回定期総会
- 20日・6月定例会（初日）
・広報特別委員会
- 22日・本会議 一般質問①
・森吉山ダム整備促進協議会会計監査
- 23日・本会議 一般質問②
・議会運営委員会
- 26日・総務文教常任委員会
・市民福祉常任委員会
・産業建設常任委員会
- 30日・議会運営委員会
・6月定例会（最終日）

7月

- 13日・全国民間空港所在都市議会協議会定期総会
・北秋田市首都圏企業懇談会